

# 特殊詐欺にご用心

## 特殊詐欺とは

特殊詐欺とは、面識のない不特定の人に対して電話やメールを使って接触し、銀行口座にお金を振り込ませるなどしてお金をだまし取る詐欺の事です。代表的な特殊詐欺にはオレオレ詐欺や架空請求詐欺などの「振り込め詐欺」があり、他にも金融商品等取引名目詐欺や異性との交際あっせん名目詐欺などが特殊詐欺にあたります。銀行口座への送金や現金の郵送による被害が多く発生していますが、近年、若年層を中心に電子マネーに関する被害も増えていきます。

### ■野々市市の事例 1

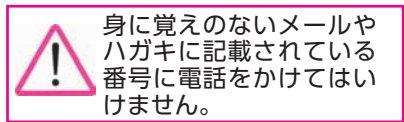
## 有料サイトの登録料金

「インターネットサイトの未納料金があり、本日中に連絡するように」とのメールが突然来た。身に覚えがないのでメールに記載されていた番号に電話をかけたところ「サイトをクリックしただけで登録される場合がある。登録料金が発生しているので 24 時間以内に 30 万円を支払え。支払いのない場合は裁判所に訴える」と言われた。

### ■野々市市の事例 2

## 訴訟についての最終告知

「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」というハガキが自宅に届いた。ハガキには連絡のない場合、給与等・動産・不動産の差し押さえをすると書かれていたので、ハガキに記載されている番号に電話をかけたところ、「弁護士でないと訴訟の取り下げはできない」と言われて弁護士を紹介され、手続きの費用を請求された。



身に覚えのないメールやハガキに記載されている番号に電話をかけるはいけません。

特殊詐欺認知状況

平成29年12月末現在			
種 別		件数	被害額(円)
振り込め詐欺	オ レ オ レ 詐 欺	43 (10)	75,150,607 (103,403,607)
	架 空 請 求 詐 欺	49 (4)	82,463,172
	融 資 保 証 金 詐 欺	3	1,315,000
	還 付 金 等 詐 欺	7	4,642,640
	合 計	102 (14)	163,571,419 (191,824,419)
振り込め類似詐欺	金融商品等取引名目詐欺	2	6,975,900
	ギャンブル必勝情報提供名目詐欺	1	7,333,896
	異性との交際あっせん名目詐欺		
	そ の 他 詐 欺		
	合 計	3	14,309,796
総 合 計		105 (14)	177,881,215 (206,134,215)

※1 件数の( )は未達(内数)  
※2 被害額の( )はキャッシュカードによる引出額を含む

平成28年12月末現在			
種 別		件数	被害額(円)
振り込め詐欺	オ レ オ レ 詐 欺	38 (7)	72,793,000
	架 空 請 求 詐 欺	55 (9)	224,446,250
	融 資 保 証 金 詐 欺	6	3,950,259
	還 付 金 等 詐 欺	38 (1)	35,604,741
	合 計	137 (17)	336,794,250
振り込め類似詐欺	金融商品等取引名目詐欺	1	16,330,000
	ギャンブル必勝情報提供名目詐欺	3	9,934,198
	異性との交際あっせん名目詐欺		
	そ の 他 詐 欺	1	14,500,000
	合 計	5	40,764,198
総 合 計		142 (17)	377,558,448

※ ( )は未達 (内数)

石川県警察ホームページより

## 詐欺被害に

### 遭わないうために

どのような手口の特殊詐欺が最近行われているのでしょうか。代表的なものを紹介しますので、これらを参考に詐欺被害に遭わないようにしましょう。

#### ①オレオレ詐欺

身に覚えのない電話番号で家族や親族を名乗る人間から電話がかかってきた時はオレオレ詐欺の可能性があります。他の家族や親族にも連絡するなど、確認と情報共有を徹底しましょう。

#### ②架空請求詐欺

インターネットの有料サイトの利用料金が未納になっていて、このままだと裁判や差し押さえになる、などとメールやハガキで通知が来ます。身に覚えのない通知に記載されている電話番号に電話をかけてはいけません。

#### ③還付金等詐欺

公的機関の職員を名乗って税金の還付がある、などと連絡し、ターゲットを銀行のATMに誘導して振り込み手続きをさせ、お金を騙し取る手

全国の特 殊 詐 欺 被 害 は、2014年に約570億円もの被害が発生し、過去最大の被害となりました。2017年は約1万8000件、被害金額は390億3000万円となっています。ピーク時に比べると件数・金額ともに減少していますが、多くの被害が出ています。特にここ7年、被害件数は右肩上がりに増加し、被害金額も6年連続で350億円を超えるなど改善の気配を見せていません(下図)。

特殊詐欺被害の特徴として、被害者の7割以上が65歳以上の高齢者となっており、男女別では女性が7割以上を占めています。

石川県内では、2017年に105件の被害があり、被害金額は約1億778万円となりました。2016年の142件、3億7755万円と比べ、件数・金額ともに減少しています。被害の内訳としてはオレオレ詐欺と架空請求詐欺が合わせて92件となり、金額においても合わせて1億5761万円で9割近くを占めています。

## あれ、おかしいな?と思ったら相談を!

詐欺被害に遭ってしまった後でお金を取り戻すことは非常に困難です。少しでも疑問を感じたら警察や市消費生活センターに相談してください。

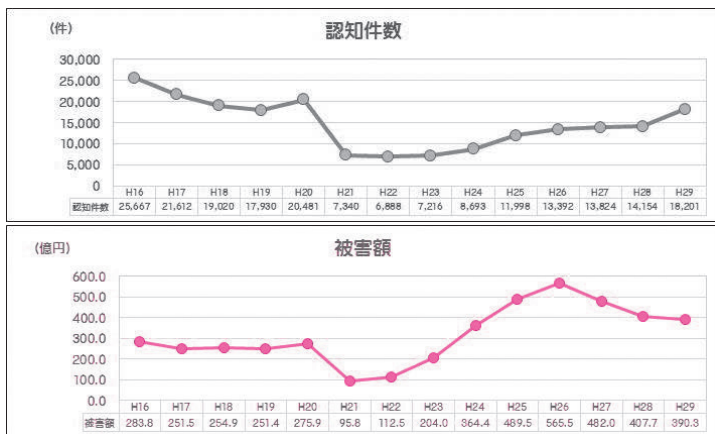
白山警察署 ☎ 076-216-0110  
市消費生活センター ☎ 076-227-6054



野々市市消費生活センターPRキャラクター  
よくみなさ〜る

口です。還付金を受け取る際に自身でATMを操作することは絶対にありませんので注意しましょう。  
犯人はあなたを動揺させ、判断力を鈍らせるような会話をしてきます。動揺することがあっても犯人の思うつぽにならないよう、冷静に判断しましょう。

市内でも、消費料金に関する訴訟の催告ハガキなど、詐欺を目的とした文書やメールが届いた、との報告が寄せられています。心当たりのないものは無視しましょう。  
被害者のほとんどは特殊詐欺についてまったくの無知ではないにも関わらず、結果的に詐欺被害に遭っています。「自分は大丈夫」という考えを捨て、常に危機意識を持つことが大切です。



警察庁ホームページより